

佐藤 弘

## アオバトをご存知？

メジロほどの大きさのシマゴマという鳥がいる。中国大陸北部で繁殖し同南部で越冬するのだが、まれに我が国の日本海側を渡る個体がいるらしい。私たちの調査地では1987年の調査開始以来、92年に2羽、94年に1羽それを捕獲している。注目すべきは、2011年東日本大震災の2ヶ月後に一挙に14羽捕獲したことだ。内訳は、初めて繁殖地に渡る幼鳥5羽に、既に渡りを経験している成鳥9羽が含まれていた。一体なにが彼らの方向感覚やナビゲーションを狂わせたのか。プレートの摩擦で地磁気がおかしくなったのか。解明できない事がなんとももどかしい。

さてアオバトだがその声は一風変わっていて「オーアオー」と鳴く。それと知らずに聞いたらとても鳥の声とは思えない。もっとも、オオカミはまだ生き残っている。遠吠えを聞いたと騒ぐあわてん坊も居ないようだが…。探鳥会などで遠くのその声を聞いても姿はなかなか見つけられない。なにせ生い茂る木々に身をひそめる緑色のハトを探し出すのは難しい。

鳥は汗腺がなく汗をかかないというのに、なぜかアオバトは海岸で海水を飲む習性をもつ。よく知られる観察ポイントに神奈川県大磯の照ヶ崎がある。ずい分昔に湘南暮らしをしていた6月、現地を訪ねた。折よく51羽の群が現れ、ひとしきり塩水を飲んでた。丹沢山系あたりから飛来するらしい。どこからやって来るのか、最近はその目をつけたハヤブサが狩場にしているという。

それほど数多くはないというアオバトが、まさか私たちの調査地の海岸へ海水を飲みに来るとは思わなかった。それこそ大震災以降のことだったと思うが、こちらは何があったのか皆目分らない。太平洋岸一帯の地磁気の乱れを嫌って日本海に来るようになったのか。いずれはと思っていたのだが、昨年秋にメスの成鳥を捕獲した。完全に定着するのか、今後の推移を見守りたい。

話かわって、メジロの稿で「メジロ押し」にどんな意味があるのか分らないと述べた。この夏、素直に納得がいく説にであった。つまり、両隣とくっつきあって暖をとる彼らの知恵だという。これは分かりやすい。

お客さま、こんにちは。今年の夏も強烈な暑さに見舞われ、更に大きな災害が続きました。このような時、当該エリアにいる友人、知人、家族、親族、取引先や仕入れ先のことを心配して安否や状況の確認を取ろうとしますよね。私も災害が起きたエリアの友人のことが心配で連絡を取りました。有難いことに現代は携帯電話が普及し、通話だけでなくメール機能等様々な連絡手段があるので、かけて通じなくても着信履歴は残るし、伝言も入れておける。またメールも送れる。そうしておく、折り返し電話やメール返信で無事の知らせが来て、ひとまずはホッとするわけです。けれど、ともすると同じような連絡があららこちらから入り、その対応で時間を取られ、気にしてくれないのは有難いけれどちょっと迷惑、などということもあるのではないかと考えてしまう場合もありません。しかし一方では停電してしまうと、周りの状況が一切入りません。交通手段がどうなっているのか、どこに給水車が来るのか、支援助資はどこに届いているのか、ということもまたわからず、これは大変困ります。そんな時、被災地外にいる人が情報を伝える手段として、携帯、メール等はとても有効でしょう。つまるところは状況判断と内容次第で迷惑にも援助にもなるのかな、と思いました。また「備え」ることの難しさも感じています。例えばどこかで大きな災害が発生したという報に接した当初は何をどれだけ、どこに保管しておくか、ということを真剣に考えて用意し、ベッドの脇には懐中電灯と靴を置いておくなどして備えておきます。けれど、ひと月たち、ふた月たちしていくうちに、徐々に警戒心が薄れていってしまい、用意した水や食料などもチェックを忘れ、気が付いたら賞味期限切れしてしまっていたり、全くもって「備え」になっていないのです。いつ来るかわからないということに対して備え続けるということは、結構難しいことなのかもしれません。(そうでない方もいらつしやるとおもいますが)けれど気候変動により、年々台風や竜巻、豪雨などの自然現象が激しさを増してきています。また、昨今は世界情勢もあまり好ましくないとは言えない方向になっているようにも感じます。大げさかもしれませんが、「有事」が起きる可能性が全くゼロではない。そのようなことを考えるとやはり改めて「備えあれば憂いなし」という言葉通りかなと考えさせられました。そして、災害時の報道について常々感じることに、それは「過剰報道」です。これは実際に私も経験したのですが、新潟は平成十六年と十九年に大きな地震があり、十六年の震災の時は私は県外出張中でした。この報道の時に受けた印象は、まるで新潟全域が大変な被害を被ったかのようでした。慌てて両親に連絡を入れたのですが、その時は通じず、親せきに連絡をして状況を確認したところ、確かに大きな揺れではあったが問題はないとの返事で胸をなでおろした覚えがあります。被災されたエリアでは本当に大変な状況であることは間違いなく、必要な情報の共有と迅速な対応を取るために報道が動くことはとても重要だとは思いますが、それを逸脱した過剰報道をすることによって観光客が激減、また極端な自粛ムードによってその県全体の経済まで影響を及ぼし、二次災害とも言える現象を引き起こしてしまうということ、しっかりと考えてもらいたいものだと思っております。

## 種々雑感

お客様  
元気通信  
むけ

## ■【似合わない趣味『園芸』】

取締役 高橋 典久

あなたは見た瞬間に、情景や音楽を思い浮かべる植物（花）はありますか？

私はペラルゴニウム\*<sup>1</sup> という花を見た時、真紅に黒の衣装を着たフラメンコダンサーの姿と、フラメンコギターの色音が聞こえてくるようでした。

この花にも色々種類があり色も多様ですが、私が手に入れたのは真紅の花に黒（濃紺）の斑が入った物でした。この花は多年草で、真紅の花に黒の斑が入った物は意外と手に入らないため、自分で挿し木して増やしています。

何年かこの花を見ていたら本場のフラメンコを見たいなあという気になり、スペイン/コルドバの花祭り（5月）を見に行ってしまうました。この祭りは貧しいジプシー\*<sup>2</sup> の人たちがゼラニウムの花を町中の白壁に飾るもので、素晴らしい雰囲気でした。

\*<sup>1</sup> ペラルゴニウム：南アフリカ・ケープ地方原産の多年草（寿命は5～6年）

\*<sup>2</sup> ジプシー：北インドを現郷とする少数民族。  
なおジプシーには侮蔑的な意味も含まれるため、現在はロマ/ロマニーと呼ばれています。



## ■【夏のーコマ】

総務部 課長 柳澤 直美

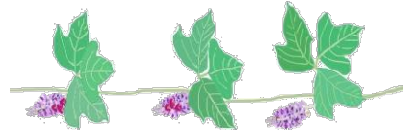
「あなたは優柔不断ですか」と問われたら、私の場合 5 段階評価なら“そう思う”“まあそう思う”に間違いなくチェックを入れるだろう。ちなみに辞典には『ぐずぐずして、物事の決断がにぶいこと。またそのさま。』とある。

この夏東京に行く機会が数回あった。その最終日にお土産を買うことにしていたので東京駅構内のお土産物店へ向かう。途中も様々なショップがあるのでふらふらと立ち寄りながら目的のお店へ。

まず“お菓子”というのは決まっている。次は“甘い系”“しょっぱい系”どっちがいいかな、暑いから甘いのは重いか～、などと考えながら物色を開始。最初に目についたパンダ模様の東京駅限定おせんべいに「お、これいいかも」と思い、勧められるままに試食。「うん、おいしい。これでいっかな。」と思いながらも「いや、もうちょっと他も見よう。」となり、グルグル土産物巡りが始まる。

あれやこれやと物色していてふと時計を見るとそろそろ新幹線ホームに向かわねばという時間になっていた。結局、最初に「ピピッ」ときたおせんべいを購入する。「だったら最初からそれにすればいいでしょ！」と言われそうだが、しょうがない。なぜなら『優柔不断』ってそういうものだから（笑）。

この夏の私のーコマ。



エッセイ

## 暑かった熱かった 生産部 島貴 修一

やっと涼しくなってきた。南インドの季節は hot hotter hottest の三つしかないと何かの本に書いてあったが、今年の日本の夏はまさに hottest。自称「寒冷地適応型モンゴロイド」の私にとってこの世で一番きらいなものは暑さで、これと比べれば注射もニンジン？もまだ我慢できる。

ハワイに行ってきた友人にハワイ旅行を勧められた時は「氷河期が来たら行く」と答え、あんな暑い所（北緯 18 度だよ）に行って何が楽しいのだろうと思ってしまふ。

氷河期だったらロシアの砕氷船で太平洋を渡り、ワイキキビーチで出迎えのペンギンにアロハ。そしてダイヤモンドヘッド火口の雪原でクロスカントリースキー、アラモアナ沖の流水下でアザラシといっしょにダイビングを楽しめば、氷雪のハワイアンリゾートを満喫できるのに。などと妄想の世界に入り込んでしまふ。ついでに言うならば宿泊はイグルーで決まり。

しかし現実の世界に戻ってみれば、帰宅後の部屋をいかに早く冷やすかが最重要だった。日中は窓を閉め切っているため、暑い時は室温 35℃以上で最高で 38℃。1 階のリビングキッチンには部屋奥の窓を開け、レンジフードのファンを回して室内の熱気を抜いてからエアコン ON。2 階寝室は窓もドアも開放して自然換気し、就寝 2 時間前にエアコン ON。室内の空気は直ぐに冷えるが、敷布団を内部まで冷やすには 2 時間かかる。北極か南極に亡命したいくらい。

7 月の北海道の紋別市で流水を保存している -20℃ の冷凍室に入った時、他の観光客が寒い寒いと騒いでいるのに、私だけは快適と感じていた（ライディングジャケットを着ていたけど）。これも大昔にシベリアでマンモス狩りをしていたご先祖様の DNA のおかげかもしれないが、地球温暖化の 21 世紀では暑さに適応できるか不安だ。もしかして私もシロクマと同様に絶滅危惧種かも。



## ◆ちょっと豆知識◆その37

### 「秋の夜長に筋肉増強」

技術営業部 部長 成田 護 (mamoru@shinyo.co.jp)

ありがたいことに当社にも研究室のようなものが整備され、スタッフも頑張ってくれていることから新たな知見が次々と得られています。

「当社はこんなことまで取り組んでるんだゾ!」というのを自慢したくて仕方ないのですが、幸か不幸か手元にあるのはちょっとした論文になるくらいのデータで、小欄でお伝えすることができません。いずれ別な場でご紹介出来ればと考えています。

そこで今回は「どうでもいい豆知識」をご披露したいと思います。

今年のGW中、早朝放映されているテレビショッピングを何とはなしに眺めていましたら「スレンダートーン」なる、腹筋を電気で鍛える器具が紹介されていました。

元サッカー全日本代表・城彰二がCMに出てる「あれ」です。

元来、この手のモノには全く心が動かないのですが、会社の先輩が、納品の道中のトラックで「あれは効くわ」と言ったのを聞いた直後だったのもあったのか、怖いもの見たさもあり購入してみました。

購入後二カ月ほどは、真面目に朝晩各1セットやっていましたが、テレビでやるような「一か月でウエスト〇〇cmダウン」とか「体重が△△kg減少」という目に見えた効果は全くありませんでした。

ただ、厚い脂肪の層の下にある腹筋は明らかに固くなりましたし、何より嬉しかったのは慢性的腰痛が劇的に改善したことです。これにはかなりたまげました。

また、購入してみて初めて分かることですが、本体の購入もさることながら、消耗品の購入が毎月生じる仕組みで、ビジネスのモデルとしても興味深いことを知ることが出来ました。

夏の暑い時期は少しお休みしましたが、最近「腹筋トレーニング」を再開したところです。

機械に頼らず、飲む量を減らせばもっと健康になれるのでしょうか…。

## “ちょっと一息” “言葉”

サポート・新規事業PJ 山本 知男 No.28

この前、連休を使ってママさんとちょっと香港・マカオに行ってきました。丁度うまい事日程が合うツアーがあったので乗った次第です。日頃ママさんから何処にも連れて行ってくれないと、文句言われていたので何とかご機嫌取りが出来て良かったです。日本からの添乗員は居ませんでした。ツアーなので現地では日本語の出来る人が案内してくれ、割と言葉には苦労しなかったのですが、飛行機の中とかホテルの中、また自由行動の時はなかなか大変でした。例えば飛行機の中でCAさんが食事の事で何か言って来る。それも早口で言うので何にも分からない。向こうはまた何か言って来たので、思い切って「もっと SLOWLY!」って言ったたら、ニコニコして「Beef rice or ビビンバ?」と聞こえたので、即座に「Beef rice」と答えたら、「OK」って言って出してくれた。ママが「あれで通じるんだ」って、「気合いだよ、気合!」ってゴマかした(笑)。それから仁川空港で5時間待ちになって、寝るのも飽きたしビールでも飲もうって、ドリンクスタンドに行って「Beer Please」と店員さんに言ったけど振り向いてくれない。もう一度大きな声で言ったら、「Come On!」ってうるさそうに言って来た。何だこいつと思いつつも向こうに回って「Two Beer Please」って言うと、前にある看板を指さして何か言ってる。見るとビールの種類が書いてあるけど、何が良いかサッパリ解らない。しょうがないから一番上を指さして「This, This!」って言ってやった。で、相手は何かバカにしたような目で見ながらビールを出してくれたけど、態度悪い店員だなんて見ていたら、他の客にはニコニコしてる。何か悪い事した?って思ったら、どうやら西洋系の人にはニコニコ、東洋系特に日本人には態度悪いように見える。あからさまな反日?って思っていました。

そんな事もありましたが海外旅行は国内旅行とは違った楽しみもあるもので、香港は日本にはない風景や素晴らしい夜景が見られたり、マカオでは中世西洋の建物が建ち並んでいたり、目を見張る物ばかりで充分楽しんで来ました。これで英語が少しでも話せればもっと楽しかったのかな、英会話の勉強でもしようかなと、ちょっと思いました。

我社では若い人中心に有志が毎週1回、アメリカの方と2時間位英会話の勉強を行っています。初めは四苦八苦していたようですが、最近は大きな声で楽し気に会話しているのを耳にすると、やっぱり柔軟な頭だと覚えが早いなと感心しています。私の場合は英語も日本語も訛りが入るから、しゃべるのは苦手。でもせめて聞き取れて返せる位にでもなれば良いかな、何て思っていると「まだ足腰が丈夫な内にもっと海外旅行に行こうね。」ってママさんは充分その気。スピードラーニングでも始めようか。